Opening

みなさん、こんにちは。
MIKIです。
MIKIsensei の日本語ラジオへようこそ。
このポッドキャストは日本語を勉強しているあなたにフィットしたラジオです。
今日も最後までお楽しみください。

みなさん、こんにちは。
今日の言葉は「舌鼓」です。
舌鼓。
舌は口の中にある、舌 tongueです。
鼓は日本の楽器で、小さい太鼓 Drumのような楽器です。
スティックを使って音を出すのではなくて、手で音を出します。
ポンポンと高い音が出る楽器です。

この舌鼓という言葉、いつ使うのでしょうか。

舌と鼓。
舌で鼓を叩くのでしょうか。
ちょっと想像ができないですね。

これはとてもおいしい料理を食べたときに、おもわず出てしまう音。鼓のように舌を鳴らすことを言います。
おいしすぎて、もっと食べたい！という気持ちで鳴らします。
私はちょっと食事中にこうした音を立てるのが苦手なので、舌鼓を打つことはしませんが、こんな音です、やってみますね。
（舌鼓）
実際に、食事中にこうした音を鳴らす人はとても少ないですが、昔は舌を慣らして、おいしさを表していたそうです。

今でもおいしい料理は、人気があります。
実際に舌を鳴らさなくても、言葉としてしっかりと使われています。
「おいしい料理に舌鼓を打つ」
こんなふうに使われています。
「おいしい料理を楽しむ」といった意味になります。
鼓という楽器を表現に使うことで、とても楽しい雰囲気が伝わってきますね。

「おいしい料理を食べる」とか「おいしい料理を楽しむ」と表現するより、
「おいしい料理に舌鼓を打つ」と表現をすると、特別な状況で特別な料理を食べて、とても楽しんでいる様子を表現することができます。

「舌鼓を打つ」という表現は日常的な食事の場面では使いませんので、注意をしてください。

例えば「お母さんの料理に舌鼓を打つ」という文を聞くと、久しぶりに会ったお母さんのお料理をおいしく食べている様子が表現されています。「久しぶりに会ったお母さんの料理」という特別な状況を思い浮かべます。特別な状況や特別な料理を楽しむときに、使ってみてください。

みなさんは最近、どんな舌鼓を打ちましたか？
ぜひ、メッセージ、アンカーでお聞きの方はボイスメッセージで教えてください。

Ending

今日も最後まで聞いてくださって、ありがとうございます。

にほんごラジオでは、みなさんのメッセージ、ボイスメッセージをお待ちしています。
番組の中で、ご紹介させていただきます。
MIKIへのメッセージフォームのリンクを載せておきます。
ぜひ、メッセージをお送りください。
https://forms.gle/np9t61DvBbjn98GV7

にほんごラジオへのDonationはKofiから寄付ができます。

https://ko-fi.com/okmymiki

毎月のサポートもKofiからできます。サポーターの方はポッドキャストのクレジットにお名前をおのせいたします。

それでは、次のポッドキャストでお会いしましょう。バイバイ